

2021年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
06010101

1. 計画名称

茅野市行政経営基本計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	魅力度ランキングが上昇するなどシティプロモーション戦略に成果が見られている一方、コロナウイルス感染症拡大の影響により住民参加によるまちづくりが進められない傾向にある。ZOOM参加など一定の会議は継続できるものの、対面が乏しいため具体的な住民自治推進が今後の課題となっている。また、行財政審議会に対し今後の行財政改革基本方針を諮問し答申を得たため、答申に沿った取り組みを進めて行く必要がある。
今後の重点化施策番号	2	説明	行財政審議会からの答申に基づいて行財政改革に取り組む。特に次年度は、第5次総合計画の見直し、DX推進計画の策定を行うため、各々と整合を図る必要がある。茅野市の将来像や目指すべき姿を構想し、市民と共有する中、現在の社会情勢に合わせた施策展開を目指した策定を進める。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	協働のまちづくりによる住民自治の実現	やや遅れている	コロナのレベルが高い時期もあり、市民活動やゆいわく茅野の講座もなかなかできない状況であった。そこで、SNSの活用方法の講座を開催し、Zoom等でもミーティング等活動ができるようにした。	コロナ禍でも直接集まって活動したいという声が多かった。直接集まるのが難しい場合は、オンラインで開催できるように組み合わせるなど、継続的な活動につながる支援が必要である。地域コミュニティにおいても、地域の事業がコロナにより縮小や休止しているところが多かった。	コロナのレベルに関係なく注意しながらでも活動ができるような支援を行っていく。相談などは係内で共有し、みんなで考えることによって色々なアイデアを出していく。
2	効率的・効果的な行政経営の推進	おおむね順調	・分野別計画及び施策の進捗は、前年度比で「やや遅れている」の割合が増加したが、R2国調人口が推計人口を大幅に上回ったため、基本構想の評価を「おおむね順調」とした。 ・棚卸を実施した64事業のうち11事業を見直し、令和4年度当初予算一般財源ベースで約35,000千円を縮減した。	社会経済情勢の変化に対応し、スピード感を持って、実効性や柔軟性を確保しながらまちづくりを進められるような総合計画及び行財政改革が必要である。	社会経済情勢に対応可能な第5次総合計画の見直しを進めるとともに、総合計画に基づきまちづくりが進められるよう、行財政改革の中でまちづくりの手法の見直しや、人、モノ、カネの選択と集中を図る。
3	持続可能な財政の確立	おおむね順調	財政調整基金及び減債基金への積み立てにより、基金残高が増加した。笹原保育園の民営化等により公共施設累計面積を減少することができた。	基金への積み立てができたが、新型コロナウイルス感染症の影響により市税が減少する見込みであったものが見込みほど減少しなかったことなど、コロナ禍の特殊要因によるところが大きい。構造的なものが改善しているわけではないので、将来的には厳しい状況は変わらない。	茅野市行財政審議会からの茅野市行財政改革方針に関する答申を受けて本格的に取組がスタートする行財政改革の中で、歳入確保と歳出削減に取り組む、基金に頼らない財政状況の実現に努める。
4	戦略的な情報発信・市民の声の反映と情報共有	おおむね順調	柱1)シティプロモーション戦略の推進により、魅力度ランキングが上昇した。 柱2)まち懇のワークラボハケ岳会場では若者にも参加して意見交換ができた。 柱3)ライン公式アカウントによる情報発信	柱1)インターネット動画サイトの市外、若者向けに特化したチャンネルの更なる情報拡散 柱2)若者からの意見集約の方法の検討	柱1)市外、若者向けに特化したインターネット番組の構築による魅力度の更なる向上を図る。 柱3) SNS各媒体の連携と活用。
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」